

毎月 11 日は

## 防災を**考**える日



平成30年3月号

## 「緊急地震速報のしくみを知ろう」

### ■緊急地震速報のしくみ

地震が発生すると、震源からは揺れが波(地震波)となって地面を伝わっていきます。地震波は主に2種類の波があり、速いスピードで伝わる波をP波、伝わるスピードは遅いが揺れは強い波をS波といいます。緊急地震速報は、P波とS波の伝わる速度の差を利用して、震源に近いところにある地震計がP波を検知すると、震源の位置や地震の規模、震度等を瞬時に計算して予想し、S波が伝わってくる前に強い揺れが来ることをお知らせするものです。緊急地震速報は、地震が発生してから情報を発表するまでの時間が極めて短いことから、震源決定から発表まですべての過程が自動制御されています。

(出典:「地震と津波」気象庁ホームページより)



### ■防災基礎クイズ

Q 日本の震度は0から7までの数字で決められています。合計で何段階あるでしょう？

毎月11日は「防災を考える日」です。

震災の教訓や災害への日頃の備えなどについて、家庭や学校、職場、地域などで話し合ってみましょう。

### ■問い合わせ先／気仙沼市総務部危機管理課防災情報係

☎:0226-22-3402 FAX:0226-22-1467 E-mail:kikikanri@kesenuma.miyagi.jp

((☎1244421270☎754979☎) 01:☎)